

南国病院広報誌

第28号 2016年4月30日発行



つくし



日本医療機能評価機構認定病院
平成23年8月5日
審査体制区分2
Ver.6.0

■発行元■

南国市大塚甲 1479-3
医療法人つくし会 南国病院
Tel (代) 088-864-3137
<http://www.nankoku-hp.or.jp>

平成28年度を迎えて 理事長・院長 中澤 宏之



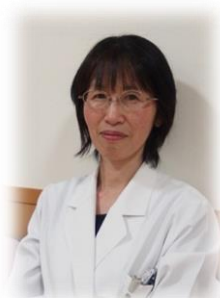
新年度を迎えて一言ご挨拶を申し上げます。当院は4月で無事開院47周年を迎え、去る4月20日には開院記念行事として院内発表会と祝賀会を開催し、いずれも盛況のうちに終わることができました。これも職員や地域の皆様のご支援の賜物と感謝しております。また、医療従事者の確保が難しい昨今の情勢の中、今年は1月以降で12名の新規採用者をお迎えすることができました。これも当院の理念、専門性、働きやすい職場環境を選んで下さる方が増えている証であると大変嬉しく思っています。

毎年4月は新たな職員を対象とした新人集合研修会や開院記念行事などが開催され、新しい仲間をお迎えした我々もフレッシュな気持ちで志を新たにすることができます。私自身昨年6月に理事長に就任して以来、当院の地域での役割や方向性を院内外に明確にすることを考えて参りました。当院の一番の強みでありブランド化すべき理念は多職種協働のチーム医療であると考えています。当院の専門分野である神経内科、精神科は特にこのチーム医療を必要とします。患者さんを中心に、どの職種であっても自由で前向きな発言ができるような職場づくり、働きやすい職場づくりを行うのが私の役割であると思っています。

今年度は診療報酬の改定に始まり6月には病院機能評価の更新受審、その後は病院新築に向けた準備の開始など当院にとっては節目の年になります。新たな仲間を迎えてスタートした今年度が当院と皆様にとって飛躍の年になりますようお祈りいたします。



総合内科専門医 内科部長 川村 一子



この度、去る9月に東京で実施された日本内科学会第43回総合内科専門医資格認定試験に無事合格することができました。試験内容は内科全般にわたるもので準備は大変でしたが、系統だてて内科全体を再勉強する機会を得られ、とても有益なものとなりました。

この経験を活かして、今後も皆様から信頼していただける診療ができるよう、より一層努力を続けていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。

第5回 開院記念 院内発表会

在宅医療支援センター
センターホール
H28.4.20 (水)



*** スチコンと栄養部で活躍している器具たち**

栄養部 調理師
川井綾哉

第1部座長 精神科部長 玉元 徹

1番目は栄養部の調理師の川井綾哉さんでした。栄養部の調理器具の便利さにも単純に驚きましたが、清潔を保つための工夫も素晴らしいと思いました。調理員さんの発表も新鮮で良かったと思いました。今後も多職種・多役職の方々の参加は有意義なものとなると思います。



南国市における認知症初期集中支チームの取り組みと当院の役割について

地域連携・医療相談室
精神保健福祉士 山本真理

2番目は、医療相談室の山本真理さんの発表でしたが、山本さんは私が無理にお願いしてやっていただいたにも拘わらず、充実した内容で質問も膨らむような内容でした。院長先生との質疑も時間ももっと欲しい内容となりました。山本さんは今回のことに懲りずにみんなを盛り上げていただくと、とても助かります。今後ともよろしくお願ひします。ありがとうございました。

アンケート調査をもとに認知症看護の在り方を考える。

～あなたがアルツハイマー型認知症と診断されたら～

5病棟 准看護師 前田聡

3番目は、5病棟のホープ前田聡さんの発表でした。認知症と診断されたら、どういう行動に出るのか、明日は我が身と思ひながら、いつもこのテーマの時には真剣に聞きたくなります。貴重な題材をわかりやすく、発表していただいたと思います。今後も前田さんにならって、他の5病棟の職員全員が発表できるように頑張っていたいただきたいと思います。

作業療法による家族支援の必要性

～調理活動を通して家族の感情が変わった一症例～

精神科作業療法室
作業療法士 西洋平

4番目は、作業療法士の西洋平さんの発表でしたが、治療困難な症例に対する精神科のリハビリテーションに関わることであり、非常に重要で貴重な事例だったと思います。非常に困るケースをなんとかチームで変えていこうという取り組みが効を奏すると考えられますので、今後も充実した作業療法をお願いしたいと思いました。

病棟における薬剤管理指導業務～その内容と成果～

薬剤部 薬剤師
椎葉貴行

5番目は、薬剤師の椎葉貴行さんの発表でしたが、相変わらず薬剤部のきめ細かな取り組みには、頭が下がる思いでした。薬剤部のチームワークも良い証拠ですので、非常に心強ひと感じました。

最後に本当にみなさんの日頃の努力に感謝しておりますし、今年は院内発表会開催のお知らせが遅くなったことをお詫び申し上げます。みなさん本当にありがとうございました。

